



翠檜

日の出町立大久野中学校
学校だより 第 11 号
令和6年3月4日

教育目標 「自ら進んで学ぼう 思いやりの心 感動する心をもとう たくましく 心とからだを鍛えよう」
あすなる物語（井上靖） 「あすは檜になろう、あすは檜になろうと一生懸命考えている木よ」

和同開珎からマイクロチップの時代へ

校長 高橋 正充

米や織物などのモノによる物々交換がほとんど占めている中、和銅元年（西暦708年）発行されたと推定される「**和同開珎**（わどうかいちん）」は日本で最初の流通貨幣と言われています。以前、私たちの給料は現金支給が当たり前でした。今は、銀行振り込みとなり貯金通帳に数字だけが記入されるだけとなりました。少し味気ない感じもします。

現在、商品を購入した時、後払いで買い物ができる「**クレジットカード払い**」にすると、現金を手にとることなく機械にカードを差し込み、暗唱番号を入れるだけでクレジットカード会社の契約した銀行口座から代金が支払われます。また、今や現金をデータ化して決済する「**電子マネー**」のカードやスマートフォンを買い物の時に機械にタッチしたり、かざしたりするだけで直ぐに決済されます。暗証番号もありません。電子マネーはスマートフォンと連動させることで、入支出金額が簡単に把握できます。銀行へ行って現金を引き出す必要がなく、重たい小銭も持たず、更に現金に直接触れることなく衛生的にも優れています。人によっては、お財布の中には現金がなく、カードだけやスマートフォンだけでも生活に困らないかもしれません。



これだけ電子化されると将来はどうなっていくのでしょうか。ICカードの先進国では、クレジット情報等が入った**マイクロチップ**を利用し始めています。マイクロチップを手の小指の外側または、手首の上側の皮膚の下に埋め込み、何も持っていなくても手をかざすだけで購入の決済ができます。

紙幣肖像の変遷

	千円札	5千円札	1万円札
1950年	聖徳太子	1957年 聖徳太子	1958年 聖徳太子
1969年	伊藤博文		
1984年	夏目漱石	新渡戸稲造	福沢諭吉
2004年	野口英世	樋口二葉	福沢諭吉
2024年	北里柴三郎	津田梅子	渋沢栄一

日本の紙幣は、約20年ごとに主要な紙幣のデザインが大きく変わっています。現在使われている紙幣が発行されたのは2004年で、その20年前の1984年にも描かれる人物やデザインが変わっています。2000年に発行された**幻の2千円札**は流通量が少ないため図柄の変更は見送られたようです。

令和6年度の上半期（4～9月）を目途に、新紙幣が約20年ぶりに発行されます。1万円札、5千円札、千円札に描かれる人物も変わります。紙幣に描かれる人物は幾つかの条件をクリアしていることが求められます。

- ①精密な写真や絵が残っている
- ②品格が備わっている
- ③国民によく知られている

新紙幣に描かれることになった3名は、いずれもこれらの条件をクリアしています。

● 1万円札は「聖徳太子」「福沢諭吉」から【**渋沢栄一**】へ。

「渋沢栄一」は、生涯にわたって500以上の「日本企業の育成」に関わった人物です。

● 5千円札は「新渡戸稲造」「樋口一葉」から【**津田梅子**】へ。

「津田梅子」は、津田塾大学を創立し「自立した女性の育成」を掲げた人物です。

● 千円札は「夏目漱石」「野口英世」から【**北里柴三郎**】へ。

「北里柴三郎」は、破傷風菌の純粹培養などの「科学技術の発展」に貢献した人物です。



定期的に新しい紙幣が発行されるのは、**偽造防止対策**です。実は紙幣に人物が描かれていることも偽造防止につながっています。人間は顔の認識能力に長けているため、紙幣の人物に対する少しい違和感から偽造を見抜くことにつながるからです。新しい紙幣では、高精細の「**すき入れ(すかし)**」や最新技術を用いた「**ホログラム**」を導入することで、偽造をより難しくさせています。また「**ユニバーサルデザイン**」を大きく推進していることも特徴です。どのような人でも紙幣の区別がつきやすいよう、額面の数字を大きくするほか、3種類の紙幣の色も**新1万円札が茶系、新5千円円札が紫系、新千円札は青系**と工夫が施されています。

日本の紙幣の技術力は世界一と言われていますが、将来、現金など持ち歩くことなく、生まれたと同時にマイクロチップが身体に埋め込まれてしまうような新たな時代になってしまうかもしれません。

4年前、卒業生が小学校5年生の3学期、2月27日政府の要請で3月2日から春休みまで学校の一斉臨時休業が発表されました。家庭学習や時差登校が続き、授業もできない状態が続きました。中学校に入学しても行事の縮小や延期、中止と先が見えない状態でした。マスクは必需品となり、給食は前を向いての黙食が当たり前となりました。東京の感染者が1日に数百人で驚いていたのが、数万人を越えて徐々に慣れが出てきていました。



昨年やっとインフルエンザと同じ5類に認定され、制約を受けつつも感染対策をしながら、何とかスキー教室と修学旅行は平常通り行えました。まだまだこれから先どんな時代になるかわかりませんが、こんな大変な時代も過ごしてきた卒業生ですから**どこへ行ってもやっていける**と信じています。卒業式では、堂々と笑顔を保護者の方々に送ってください。卒業証書を受け取る中学校最後の授業を担当から、お世話になった先生方から受け、新天地へ旅立って行ってください。

日の出町立大久野中学校 第77回卒業生51名に幸あれ!



<全国中学生人権作文コンテスト東京都大会>
【大多摩人権擁護委員協議会】会長賞 3年

<大久野中三大コンテスト オール満点者>

3月の主な予定

- 1日(金) 都立一次・分割前期発表
- 4日(月) 朝礼 安全指導
- 7日(木) 作品展
保護者会 学校公開
歯科講話 1・3年C組
- 8日(金) 作品展 学校公開
がん教育3年
学校評議員会
都立二次・分割後後期入試
- 11日(月) 避難訓練
- 13日(水) 卒業式予行
- 14日(木) 都立二次・分割後期発表
- 15日(金) 午前授業 準備
- 18日(月) **第77回 卒業式**
- 19日(火) 給食終
- 20日(水) **春分の日**
- 21日(木) 午前授業
- 22日(金) 大掃除 午前授業
- 25日(月) **修了式 離任式**
- 26日(火) 春季休業始